

4 はるかさん、すすむさんの学級では、総合的な学習の時間で「わたしたちの暮らしと社会の動き」をテーマに学習することになりました。

はじめに、学級全体でわたしたちの暮らしの中から、社会の動きにともなって変化が見られることを出し合いました。そして、出されたことがらを分類・整理し、社会の動きとして次の四つにまとめました。

- | | |
|---|--|
| ① | 社会・文化・ ^{けいざい} 経済など、さまざまな面で世界の国々との結びつきが深くなる。
〔グローバル化〕 |
| ② | 情報ネットワークを活用して、情報をいち早く受け取ったり、発信したりできるようになる。
〔情報化〕 |
| ③ | ^{ねんれい} 年齢、 ^{しょう} 障がいの有無、 ^{うむ} 性別、 ^{こくせき} 国籍などに関係なく、すべての人が安心・安全・快適に暮らせる社会をつくる。〔バリアフリー・ユニバーサルデザイン〕 |
| ④ | ^{しげん} 資源を有効に使うことによって、 ^{はいき} 廃棄されるものを最小限に抑える社会をつくる。
〔リデュース・リユース・リサイクル（3R）〕 |

図1 学級でまとめた社会の動き

その後、この四つの動きに関連したことがらが、^{ちいき}地域の中でどのような形で見られるのか調べることにしました。

そこで、みんなで^{ぶんたん}分担して、さまざまな^{しせつ ほうもん}施設を訪問することになりました。

はるかさんとすすむさんは、近所のスーパーマーケットを訪問し、店の様子を見学しながら写真^とを撮らせてもらいました。

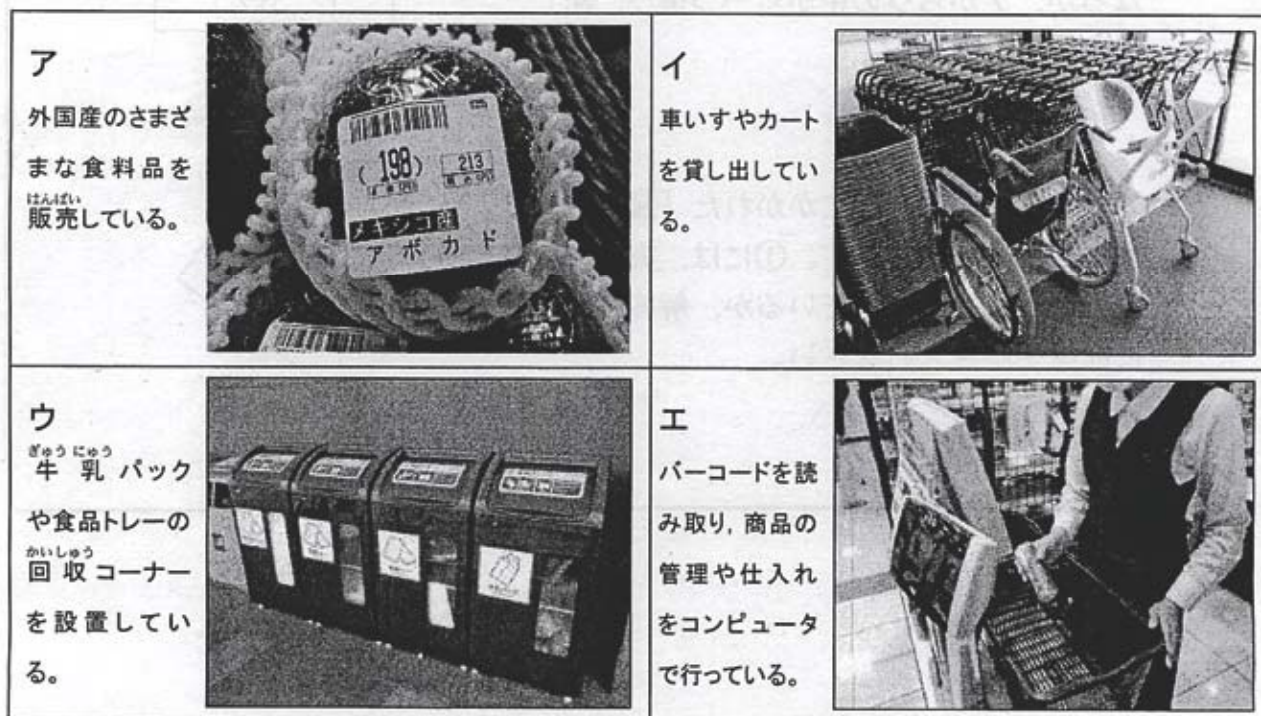


図2 スーパーマーケットで二人が見つけたことがら

【問1】 図2のアからエのことがらと最も関係が深い、社会の動きを、図1の①から④の中からそれぞれ一つずつ選び、答えなさい。

その後、二人は、スーパーマーケットの店長にインタビューをして、いろいろな話を聞きました。

すすむ： わたしたちは、総合的な学習の時間に「わたしたちの暮らしと社会の動き」をテーマに学習をしています。こちらのお店では、このテーマに関連した取り組みで、特に力を入れていることはありますか。

店長： レジ袋^{ぶくろ}の有料化やマイバッグの持参運動をすすめることでレジ袋の削減^{さくげん}に取り組んでいます。

はるか： レジ袋の削減は、地球にやさしい取り組みなんですよ。

店長： よく知っていますね。

レジ袋の削減は、原料である石油の節約になるんです。レジ袋1枚を作るためには、石油約20mLが必要だと言われています。つまり、レジ袋1枚を削減すれば、その分だけ石油を節約したことになるわけです。

さらに、ごみの減量や地球温暖化^{おんだん}の防止にもつながるんですよ。

すすむ： では、どれくらいのお客さんがマイバッグを持ってきますか。

店長： このスーパーマーケットには、一日に約1500人のお客様が来店されます。そのうち約60%のお客様がマイバッグを持参されています。

はるか： マイバッグを持ってくるお客さんがもっと増えるといいですね。

【問2】 店長の話から、レジ袋の削減に取り組むことで、このスーパーマーケットでは、一日に約何Lの石油が節約されていることになるか、答えなさい。

また、その求め方を言葉や式で説明しなさい。

ただし、マイバッグを持参した客一人あたりレジ袋1枚分の石油を削減できるものとします。